

こまざわ経済通信

発行
駒澤大学経済学部
同窓会
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢
1-23-1

母校訪問に思う 橋本貞和

昨年(土)に開催された。……現在(土)に開催された。……現在の大学の姿を見ていただき、イベントを通して母校との絆を深め、同窓生・大学・教職員・在校生相互の親睦・交流を図る目的」で、卒業後二十年 三〇年 四十年 五十年以上のOB・OGが、メインゲストであるという。よい機会であり参加させていただいた。

また、有為な人材育成の教育機関として、その機能を遺憾なく発揮している。その様子を広報活動の「学園通信」で詳細を知ることが出来る。

火を免れて住宅地は残った。多くの学生がここに下宿させていた。お世話になった。……生活の姿勢は、地域社会と大学を結ぶのに大きく役立っていたのではないかと考える。

正門を通り、守衛所、図書館、学生会館と続く。「駒澤大学」と刻んだ石柱がある。ここで一礼をする。一瞬昭和二十年代のキャンパスが浮かんだ。本館、図書館、校舎一・二号館、前庭に桜、松、銀杏、ヒマラヤ杉が四季の移り変りを写す。大黒頭巾の尼僧学生、男子学生は学帽に学生服を着用し、談笑している姿である。懐しく思う。

「知的生産力の高い都市型大学を目指して」飛躍するため、脚下照顧、まず地域社会から評価される研ぎ澄まされたセンスある学生に、一人ひとりが育ってほしい。

懇親パーティーも盛会であった。末席で先輩の同窓生が食事をしていて。失礼を承知で声をかけさせていただいた。「昭和十年、東洋学科の卒業で本年九十二才とのこと。忽骨谷快天先生が学長であり、「大森禪戒教授に就職をお世話になった」と回想されていた。このような大先輩の出席は感激である。メインに席を設けて、マイクを向けて紹介しながら、昭和初期の大学の様子を話し始め学生生活を細かく拝聴できたら更に良かったと思う。

当日の主な催し物は、記念講堂を中心に、記念講堂・吹奏楽部の力強い演奏会・ペギー葉山さんのコンサート・学内見学会と続く。学生による催し物・展示・模擬店等もある。

学園内を行き交う学生に接すると、礼儀正しく、言葉使いも当を得てさわやかである。

全員による校歌斉唱、エールが響き閉会となった。種々思いを馳せた長い一日であった。今後とも隆々たる母校の発展を心から祈念し、正門で一礼し辞去した。

本日いただいた資料に眼を通す。昭和三十年代後半から学生数が急増 図書館、校舎、研究館、体育館、情報センター等が建設され、威容を誇る現在の姿となったという。

また、過日同じ主旨の新聞報道があった。「……駒大駒沢キャンパス。マナー向上運動を実施し周辺の歩道の清掃を始めている。」「地域と共存できないければ大学は立ち行かない」(総務課)と話す。「(九月十六日日経)

先刻のさわやかな学生の姿からは、とうてい想像できない。なんとも寂しいことである。終戦直後、大学周辺は幸に戦

充実した諸設備を活用して、学術・調査・研究機関として、

「昭和二十八年三月、商経学部第一期卒業生」

変化の時代にあつて、大学もいま大きく変貌しようとしています。大学院が研究者養成だけ

を目的とした時代は過去のものとなりました。経済活動の高度化や社会生活の複雑化にともない、高等教育に対する社会的要

請も多様になり、大学院にもさまざまな目的をもった者が入学してきます。研究者をめざす者、専門職の資格取得を目的とする者ばかりでなく、高度な職業的専門知識や幅広い学問的視野を得るために大学院で学ぶ社会人や実務家も増加しています。また、心の豊かさを求めて

生涯教育の場として大学院に期待する声も高まっています。大学院への進学目的は多岐にわた

大学院へのご招待

大学院経済学研究所委員長 友松憲彦

教育として経済学や経済問題を研究しようとする社会人も受け入れます。

(2) 税制・財務コース

専門職(税理士)の養成コースです。税理士の資格取得にとどまらず、実務の背景となる経済についての幅広い視野と知識を身につけることをめざします。税法に属する科目で学位を取得し、国税庁の修士論文審査を経ることで一定の税理士試験科目が免除されます。

(3) キャリアアップ・コース

社会人の再教育コースです。実務家、企業経営者、資格保持者等の高度専門教育、現職教員や教職免許をもつ社会人の専修免許取得のニーズに対応します。修士論文ではなく「課題研究」(レポート)によって修士の学位が取得できます。平日夜間開講や土曜開講も実施し、働きながら勉学する多忙な社会人の便宜をはかります。

(1) 研究コース

大学や研究機関の研究者養成を目的とします。また、専修教員免許の取得(中学・社会、高校・公民)をめざす者、高度な職業専門知識や社会経済に関する広範な視野を獲得したい実務家や企業経営者の研究教育ニーズにも対応します。また、生涯

研究したいという社会人の知的欲求に応えることも、大学院の重要な社会的使命となっています。

本大学院は社会人入学を促進するため入試制度にも配慮しています。「社会人特別入学試験」は実務経験、社会経験をベ

現在、経済学研究科では優れた研究業績をもつ教授二十六名(専任二十四、客員二)が研究指導にあたっており、きわめて恵まれた少人数教育の環境があります。大学院生の研究意欲も旺盛で若々しい活気に溢れています。また、平成十九年度には大学院深沢新校舎が竣工し、修士課程の入学定員も倍増する予定です。

大学院の四十年に及ぶ歴史と遺産を尊重しながら、新しい時代の大学院をめざして今後とも改革を推進してまいります。同窓生の皆さまに大学院の現状をご理解いただくとともに、皆さまのキャリアアップや生涯教育の場として大学院が利用されることを心から期待しております。

〈問い合わせ先〉
教務部教務二係「大学院担当」
電話〇三(三四一八)九一一七

経済学部ゼミシリーズ

★堀龍二ゼミ

バブル崩壊から、日本の雇用体系は崩れつつあります。終身雇用制度は、無くなりつつあり、年功序列型賃金制度も崩壊しています。裁量労働制に移行する企業もあれば、年棒制に移行する企業もあり、そうした状況の中で、



扱ってきた実践的な質問です。それは学生のみんなの今だと思えます。多くのゼミ生が、卒業後に企業の組織メンバーになると言う意味でも、人的資源の活用方法は身近な問題だと言えます。我が堀ゼミでは、最近の日本の労務管理の動向を詳しく分析し、諸外国との違い等を研究しています。

企業がとって大事な要素である「ヒト」をどう生かしていくのか、これが経営のキーの一つであることは明白です。企業はヒトでできており、ヒトが変われば企業も変わります。ヒトの適切な管理を欠いてしまえば、他にどんなに素晴らしい経営をなしても企業は脆い地盤の上にあると言えます。しかし、人材を適切に生かすことができたら、業務改善が進み、生産性が高まるのは勿論の事、会社が生き活きとし、他社をひきつける事になるはずで、ひいては、それが経営の安定と発展につながると思います。

★有井行夫ゼミ

自分の糧になると思っています。
写真は堀ゼミの夏合宿の風景です。
(執筆者：経済学部 経済学科四年 三ヶ島 恒)

私たちが有井ゼミの授業はまず新聞の気になった記事についてその日の担当者が発表し、皆でその記事の内容についてディスカッションします。意見が行き詰ったときには先生の一言がまた話し合いを活発にさせます。この後に株式会社について学びます。形式として決めて、司会者、発表者、そして意見、質問を言い合い最後にその章の論点をまとめるというかたちです。授業は毎回このような感じで行っていきます。

合宿は夏季に予定しており、勉強とゼミ生の交流に時間を割いています。勉強では、与えられたテーマに沿って発表を行い、学年を飛び越えた意見の応酬があります。そうした中で、ざっくばらんな関係が築けています。私はこのゼミでの授業や自分の発表、ゼミ生の発表を通して、様々な意見を聞き学ぶ事が出来ました。貴重な体験が得られ、これから

★森田佳宏ゼミ

森田ゼミのOB・OGの皆さん、お元気で活躍のことと存じます。

二〇〇五年度森田ゼミのゼミ生は、経済学科と商学科の全学年あわせて総数三十九名、大学院生一名です。以前と比較すると、少数精鋭ではありますが、ゼミ生同士とても仲がよいです。ゼミの時間には、「財務諸表と監査の基礎」について学んでいます。ここ数年、会計を取り



三年次の夏休みには、富浦にあるセミナーハウスで合宿をし、簿記検定の勉強会を開いて、最終日の夜には花火と懇親会をしました。

私たちのゼミの特徴としては、よく本題と関係ない話に脱線し、盛り上がるということ。きつと皆さんの時とあまり変わっていないと思います。先日、ハンバーガーの話でゼミのほとんどの時間を使いました。それは、外食産業の経営分析についての卒論報告がきっかけだったので……。マクドナルド、モスバーガーなど、

いろいろなハンバーガーがあります。森田先生が今まで食べた中で一番おいしかったのは、広尾商店街のあるお店

写真：森田ゼミの夏合宿でのヒトコマです。

経済学部商学科四年 森田ゼミ四期生 柳澤 啓貴

★松井柳平ゼミ

僕たちは、松井先生を囲んで、数理経済学・計量経済学について学んでいるゼミです。

また、経済全般に対して幅広く勉強しています。僕たちがこのゼミをとったきっかけは、役に立ちそうだが、すぐ使えそう

だ、と思ったからです。また、パソコンを使った授業に興味があったから

です。ゼミでは、数理統計の分析をおこなうことも学びました。

使用したソフトウェアのなかでもExcelは使い慣れていたつもりでしたが、このゼミでこんな使い方があるのかと発見がありました。またこの見解を学問的に説明する方法が身につきました。自分が興味を持ってれば、つらいことも楽しくなるということが分かりました。ゼミで学んだ数理統計学の知識を用いて、プロ野球チーム「楽天イーグルス」について、年俸その他のデータと成績とのあいだの相関分析、回帰分析や、喫煙と疾病や死亡とのあいだの関係についても分析をおこないました。

正直朝一限の授業はつらいですが、先生はほとんどの遅刻をなんとかしようと、SPI対策の小テストを授業開始の二十分くらいを使ってやることになりました。なかでも毎回、基本英文を五つずつ覚えて暗誦するのは、先生が毎回一番最初の英文から質問されるのでたいへんでしたが、たぬになりました。

このゼミの利点は、自分から提案したことが授業で取り上げてもらえるということ。個人的に株に興味を持っており、あらためて勉強したい

いなあ〜と考えていました。株の話をやりたいだったので、ゼミでは株価データを聞いた分析もおこないました。相場全体の値動きに対する個別銘柄の感応度を示す数値として「ベータ値」があります。ベータ値とは、ウィリアム・シャープにより発表された資本市場理論(CAPM) Capital Asset Pricing Model) による株式ポートフォリオの構築方法として研究されたものです。ベータ値は、個別銘柄の動きと市場の動きとの相関関係を表しており、個別銘柄と日経平均株価との関係を計算し、それぞれの個別銘柄が市場変化に対してより敏感に反応するかどうか調べました。(決定係数は低かったです。ゼミで株を買ったり売ったりするわけではないですが、実際に株式売買のシミュレーションをおこなっています。投資シミュレーションは日興コーディアル証券のStock Weddy Simulation を使用しています。ランキングに載るくらい投資収益を上げてみたい。そのためにも、株価や株式市場についての勉強はもちろん、マクロ経済学やさまざまな経済統計指標についてより理解を深めていきたいです。

また、来年のゼミでは合宿をおこない、ゼミ生の相互理解を深めたり、共同論文の話し合いを行ったり、海や温泉に行ったり遊んだりすることになると思います。ゼミではもちろん、飲み会などの企画も充実していて、みんなでいろいろなところに遊びに行ったりします。先生もとても気さくな方なので、飲み会には必ず出席してください。また、特に飲み会を企画しなくても毎週ゼミの終わりには食べに行ったり飲みに行ったりしてしまったり。アットホームです。このように僕らは、ありきたりな「やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ」という言葉では

★吉田敬一ゼミ

私は東洋大学の経済学部で十九年間教鞭をとっていましたが、縁あって二〇〇二(平成十四)年四月に駒澤大学に着任しました。それゆえ、駒澤大学経済学部の吉田ゼミは未だ三期の卒業生しか生まれていない若いゼミです。私の夢は近い将来、駒澤大学と東洋大学のゼミOB・OGの合同同窓会を開くことです。ゼミ運営に関する私のモットーはフランスの詩人アラゴンの言葉にある「教え

表現できないくらい充実した活動をしています。来年度もいままでの先輩たちに負けないくらい頑張っていくのでよろしくお願ひします。

早い時期から将来の目標を明確にすることは、非常に重要であり、自分の将来の夢は何か、それを実現するには何が必要か、今の自分に欠けているものは何か、学生の時間にはいろいろ考えることは重要だと思います。松井ゼミを続けていくなかで、こうしたことをはったりと認識し、目的意識を持って勉学に取り組むことで、僕ら自身成長できると思っています。

(経済学科二年 松井ゼミ 齊藤・田辺)

私は東洋大学の経済学部で十九年間教鞭をとっていましたが、縁あって二〇〇二(平成十四)年四月に駒澤大学に着任しました。それゆえ、駒澤大学経済学部の吉田ゼミは未だ三期の卒業生しか生まれていない若いゼミです。私の夢は近い将来、駒澤大学と東洋大学のゼミOB・OGの合同同窓会を開くことです。ゼミ運営に関する私のモットーはフランスの詩人アラゴンの言葉にある「教え

るとはともに希望を語ることに、学ぶとは真実を胸に刻むこと」です。知識の習得(ノウ・ハウ)は手段であり、知識を智慧に昇華する能力(ノウ・ホワイ)を身につけることをゼミの主要課題にしています。

さて、吉田ゼミの活動内容の特徴を簡単に紹介することにします。ゼミ活動は原則として学年別(各学年のゼミ生は十五人程度)で、三〜四人で班を構成し、報告・議論

は班単位で行ないます。報告レジュメの作成や、質疑の対応のための班員相互のコミュニケーション能力の向上が狙いです。適宜に開かれるコンパでは人生観や恋愛観も話題になります。留学生が混じっていると議論の流れはゼミの時間よりも有意義かつ濃厚になります。自己主張の強い留学生との学内外での交流は、日本人学生にとってグローバル化時代に必要で、異なる種族交流能力を体感する貴重な場となっていることを痛感する昨今です。

合宿は、年次によって学年別に夏・春に行なっています。代表的な企業

の比較分析を通じて、経済学部の卒業生として複眼を持つことが狙いです。ヒト・モノ・カネ・情報を国民経済の発展と福祉向上の観点から如何に有効に活用するかを学ぶ経済学(鳥の眼)

と、具体的な企業という立場からヒト・モノ・カネ・情報を効果的に活用すればよいのかを学ぶ経営学・商学(虫の眼)との複眼をバランスよく身につけることです。経済学は「経済が苦」ではなく、「経済楽」という思いを持って卒業してもらうことを望んでいます。

写真は二〇〇三年夏合宿のヒトコマです。

卒業式で「経済学部同窓会会長賞」授与

経済学部同窓会は、平成17年3月25日に挙行された卒業式で、経済学部の学生で、学業で優秀な成績を修め、人物共に優れた学生9名に「経済学部同窓会会長賞」が授与された。表彰された9名は、教務部で選考され、経済学部教授会で審議の結果選出されたもので、表彰者は下記の卒業生である。

経済学科フレックスA	
氏名	
杉村文絵	
稲葉佐祐美	
吉田明日香	

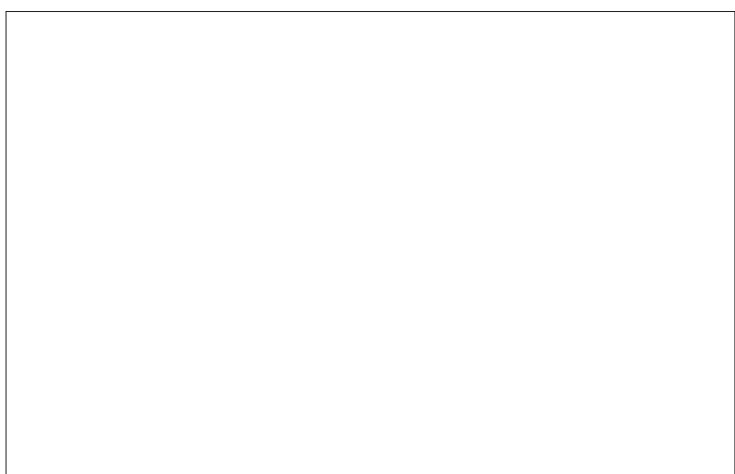
商学科	
氏名	
杉浦良祐	
中嶋康	
富永裕美子	

経済学科フレックスB	
氏名	
有澤勝弘	
長尾暁洋	
山形大輔	

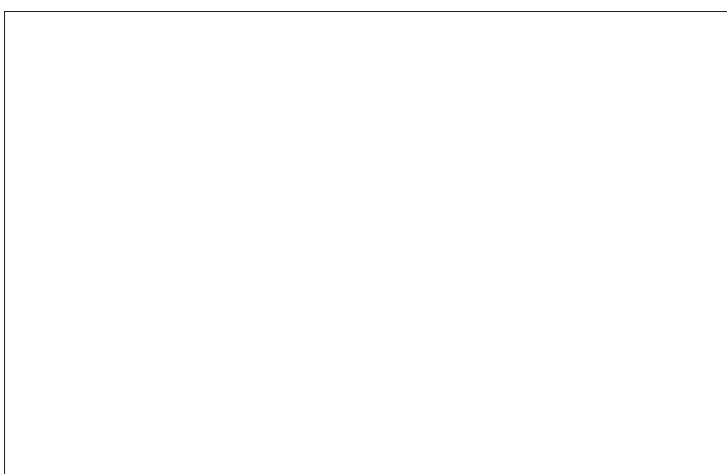
表彰式は、卒業式の後、各学科に分かれて行われる卒業証書授与式の際に行われ、表彰状と記念品がそれぞれの学生に授与された。

杉村文絵、杉浦良祐、有澤勝弘の3名は学長賞も同時に授与された。4年間真面目に努力してきた成果と受賞の喜びを語っている。

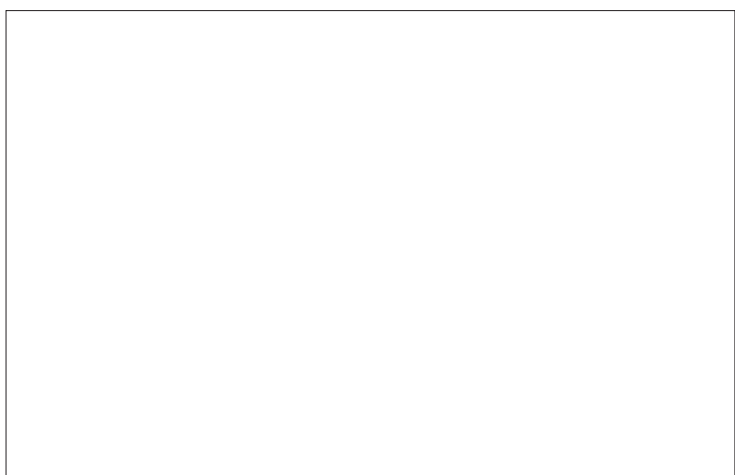
写真は会長賞を授与される①杉村文絵さん、②杉浦良祐さん、③有澤弘さん、④吉田明日香さん、⑤長尾暁洋さん。



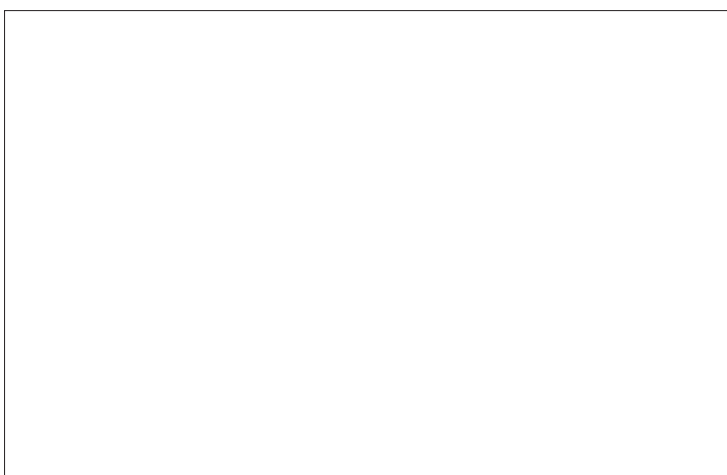
①



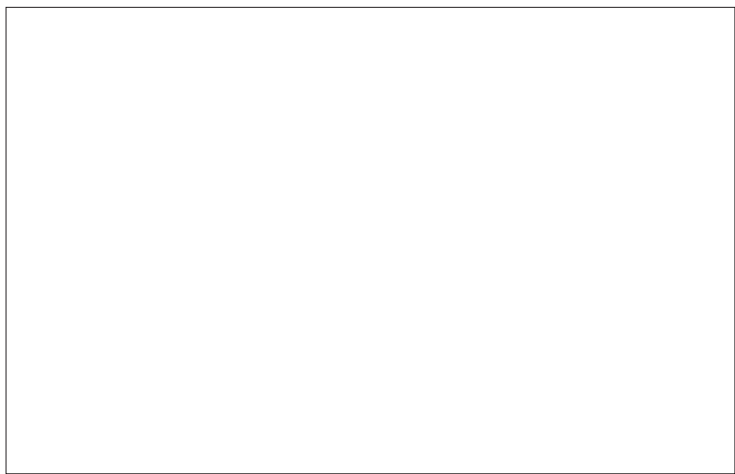
②



③



④



⑤

☆経済学部同窓会費納入について☆
 平成18年度および19年度の2期分6000円を同封の振込み用紙でお納め下さるようお願い申し上げます。
 経済学部同窓会連絡先
 〒154-8525
 東京都世田谷区駒沢1-23-1
 電話 03-3418-9025 大沢(おおさわ)
 9093 池墻(いけがき)
 会長 大場 康 宣
 昭和45年経済学部卒業 世田谷区議会議員
 ※ 前会長の勝場政範氏は駒澤大学同窓会の会長を務めています。